

再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：長谷川 朋弘

事業名 北海道横断自動車道 <small>あばしり</small> 網走線 <small>あしよる</small> 足寄～北見 <small>きたみ</small>	事業区分 高速自動車国道 事業主体 国土交通省 北海道開発局															
起終点 自：北海道足寄郡足寄町郊南 至：北海道北見市北上	延長 <p style="text-align: right;">79.0 km</p>															
事業概要 北海道横断自動車道は、黒松内町を起点とし、小樽市、夕張市、清水町、本別町等を経由して、根室市及び網走市に至る延長約694kmの高速自動車国道である。 このうち網走線は、本別JCTから網走市へ至る延長約156kmの区間であり、足寄～北見は、高速ネットワークの拡充によるオホーツク圏と道央圏・十勝圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化、物流の効率化等の支援を目的とした延長79.0kmの事業である。																
H15年度事業化 （新直轄方式）	H一年度都市計画決定 （H一年度変更）															
H17年度用地補償着手	H18年度工事着手															
全体事業費	約1,072億円															
事業進捗率 <small>（令和3年3月末時点）</small>	約67%															
供用済延長	28.0 km															
計画交通量 2,900～6,300台/日																
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">B/C</td> <td style="width: 40%;">総費用 <small>（残事業）/（事業全体）</small></td> <td style="width: 40%;">総便益 <small>（残事業）/（事業全体）</small></td> </tr> <tr> <td><small>（事業全体）</small></td> <td>763/1,853億円</td> <td>1,665/2,161億円</td> </tr> <tr> <td>1.2(1.02)</td> <td>（事業費：597/1,571億円）</td> <td>（走行時間短縮便益：1,407/1,753億円）</td> </tr> <tr> <td><small>（残事業）</small></td> <td>維持管理費：166/282億円</td> <td>（走行経費減少便益：210/336億円）</td> </tr> <tr> <td>2.2(2.8)</td> <td></td> <td>（交通事故減少便益：48/72億円）</td> </tr> </table>	B/C	総費用 <small>（残事業）/（事業全体）</small>	総便益 <small>（残事業）/（事業全体）</small>	<small>（事業全体）</small>	763/1,853億円	1,665/2,161億円	1.2(1.02)	（事業費：597/1,571億円）	（走行時間短縮便益：1,407/1,753億円）	<small>（残事業）</small>	維持管理費：166/282億円	（走行経費減少便益：210/336億円）	2.2(2.8)		（交通事故減少便益：48/72億円）
B/C	総費用 <small>（残事業）/（事業全体）</small>	総便益 <small>（残事業）/（事業全体）</small>														
<small>（事業全体）</small>	763/1,853億円	1,665/2,161億円														
1.2(1.02)	（事業費：597/1,571億円）	（走行時間短縮便益：1,407/1,753億円）														
<small>（残事業）</small>	維持管理費：166/282億円	（走行経費減少便益：210/336億円）														
2.2(2.8)		（交通事故減少便益：48/72億円）														
基準年 令和3年																
感度分析の結果 事業全体及び残事業について感度分析を実施 【事業全体】交通量：B/C=1.02～1.3（交通量±10%） 【残事業】交通量：B/C=1.9～2.5（交通量±10%） 事業費：B/C=1.1～1.2（事業費±10%） 事業費：B/C=2.0～2.4（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.1～1.2（事業期間±20%） 事業期間：B/C=2.1～2.2（事業期間±20%）																
事業の効果等 事業の必要性及び効果 <ol style="list-style-type: none"> ① 災害時のリダンダンシー確保 <ul style="list-style-type: none"> ・災害リスクが高まる中、災害に強い道路ネットワークとして横断自動車道の整備が期待される。 ② 災害時の迂回損失の解消 <ul style="list-style-type: none"> ・近年、被災リスクが高まっており、災害による迂回損失、復旧活動、救援物資輸送等の観点から横断自動車道の整備が期待される。 ③ 冬期交通障害時のリダンダンシー確保 <ul style="list-style-type: none"> ・道央道通行止め時に迂回ルートとして利用され、オホーツク地域への代替機能強化や移動時間の均衡が図られる観点からも横断自動車道の整備が期待される ④ 救急搬送の速達性・安定性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・安定走行による患者負担軽減や救急搬送体制確保の観点から横断自動車道の整備が期待される。 ⑤ 物流の輸送効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・安定性、速達性及び安全性が高く、代替性や輸送効率の観点から横断自動車道の整備が期待される。 ⑥ 周遊観光の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・道内7空港の民営化を始めとする広域周遊観光の活性化の観点から横断自動車道の整備が期待される。 																
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： 帯広市、本別町など1市10町の首長で構成される「北海道横断自動車道十勝地区早期建設促進期成会」等から、早期整備の要望を受けている。																

